

平成 19 年度試験研究成果書

| 区分 | 指導 | 題名 | 着果調整による雨よけトマトの秋期増収効果と盛夏期収穫作業の軽減 | | |
|---|--------|------|---------------------------------|-------|---------|
| [要約] 6 段花房直下の主枝更新処理または 6 段花房上部の主枝更新処理により、9 ~ 10 月の商品果収量が増加し、総商品果収量は慣行とほぼ同等となる。これらの着果調整により、8 月の盛夏期の総収量を抑制することが可能となり、この時期の収穫作業負担を軽減できる。 | | | | | |
| キーワード | 雨よけトマト | 主枝更新 | 摘花房 | 園芸畑作部 | 南部園芸研究室 |

1 背景とねらい

雨よけトマトの長段収穫栽培では、7月下旬～8月中旬に出荷量が集中し、その後の出荷量が減少する現状にあるため、市場等からは9月以降の出荷量の拡大を求められている。また、8月の旧盆時期は市場の価格形成力が弱い傾向にある上、収穫作業等への雇用労力の確保も困難である。それに対して、9～10月は比較的有利な価格形成が期待できるため、この時期の出荷量を増加することは、生産農家の収益性向上に結びつく。

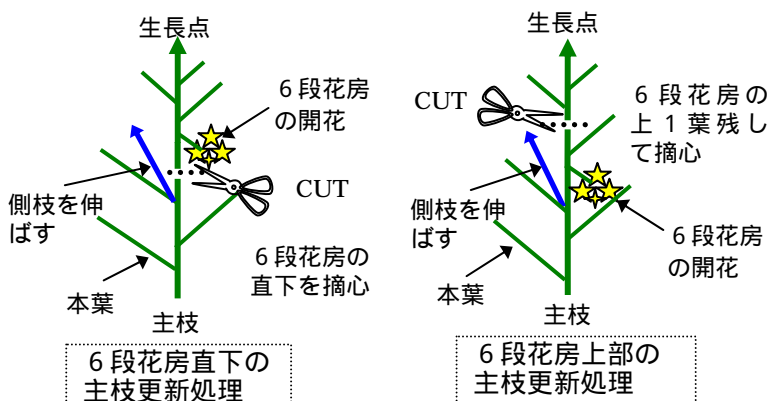
そこで、8月旧盆時期の出荷ピークを崩すとともに、9月以降の出荷量を確保することが可能な着果調整技術として、主枝更新及び摘花房による処理効果を検討する。

2 成果の内容

(1) 9～10月の商品果収量は、6段花房直下の主枝更新処理で慣行対比17%、6段花房上部の主枝更新処理、6段花房の摘花房処理で15%増加する。これらの処理における商品果収量、商品果1果重は慣行とほぼ同等である(表1、図1、図2)。

(2) 6段花房直下の主枝更新処理または6段花房上部の主枝更新処理により、8月10～19日の10日間における総収量は、慣行の約1/2となる(図3)。

(3) 6段花房直下の主枝更新処理は、花房直下の側枝発生を確認したうえで、花房ごと主枝を摘心する。6段花房上部の主枝更新処理は、花房直下の側枝発生を確認したうえで、処理花房の上1枚の本葉を残して主枝を摘心する(右図)。



3 成果活用上の留意事項

(1) 本成果は、基本作型である4月下旬定植の長段収穫栽培において「桃太郎8」を供試した場合に適用される。

(2) 主枝更新処理は、処理後の草勢が弱くなりやすく、摘花房処理では、処理後の草勢が強くなる傾向が認められる。したがって、主枝更新処理を実施する場合は、草勢に注意を払い、処理前から追肥等による草勢維持に努めるとともに、処理後も適正な草勢を維持するよう肥培管理に留意する。

(3) 本成果における処理時期は6月20日である。処理後の気象条件により盛夏期の収穫ピークが前後することも考えられるので注意する。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

雨よけトマト産地の農業普及員、JA営農指導員等

(2) 期待する活用効果

秋期増収による収益性向上、収穫最盛期における収穫労力の負担軽減

5 当該事項に係る試験研究課題

(H17 - 39) 高品質・高付加価値トマトの生産供給技術確立(H17～19年、令達)

6 参考資料・文献

H18年度研究成果(研究)「雨よけトマトにおける摘花房、主枝更新技術による収量・品質等に及ぼす影響」

7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 商品果収量（2007年）

| 区 | 総収量 (kg/a) | 商品果 | | | | |
|--------------------|---------------|--------------|-----------|---------------|---------------|------------|
| | | 収量 (kg/a) | 対比 (%) | 商品果率 (個数%) | 果実数 (aあたり) | 1果重 (g) |
| 6段花房上部の主枝更新 | 2,257 | 1,864 | 100 | 81.5 | 8,792 | 212.7 |
| 6段花房の摘花房 | 2,269 | 1,917 | 103 | 82.7 | 9,113 | 210.3 |
| 6段・7段花房の摘花房 | 2,177 | 1,822 | 98 | 80.4 | 9,093 | 200.4 |
| 6段花房直下の主枝更新 | 2,108 | 1,820 | 98 | 81.5 | 8,660 | 210.1 |
| 5段花房の主枝更新と6段花房の摘花房 | 2,087 | 1,719 | 93 | 79.4 | 8,246 | 208.5 |
| 慣行（無処理） | 2,198 | 1,857 | (100) | 81.8 | 9,108 | 203.9 |

注1) 総収量：収穫した果実全て（障害果等を含む） 商品果：県青果物出荷規格 A・B品のLL~SS

注2) 定植日4月27日、主枝摘芯日8月31日、収穫開始：6月20日、収穫打ち切り日：10月31日

注3) 処理時期 6月12日：主枝更新（5段） 6月20日：主枝更新（6段） 摘花房（6段）

6月30日：摘花房（7段） 5段花房を主枝更新後の摘花房（6段）

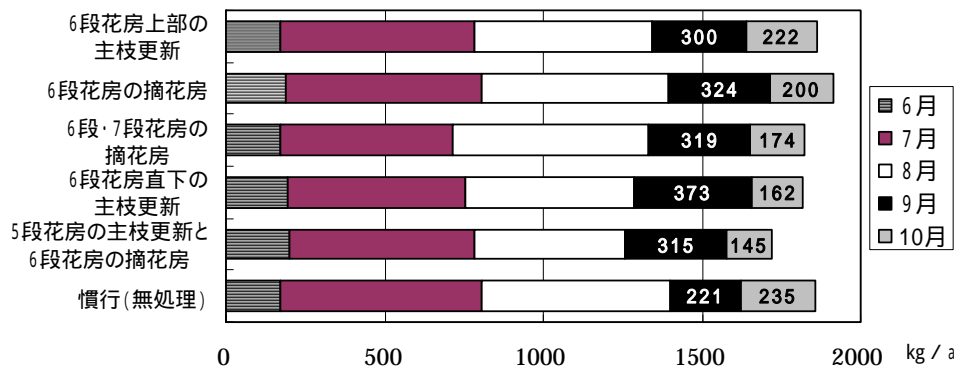


図1 月別商品果収量の推移

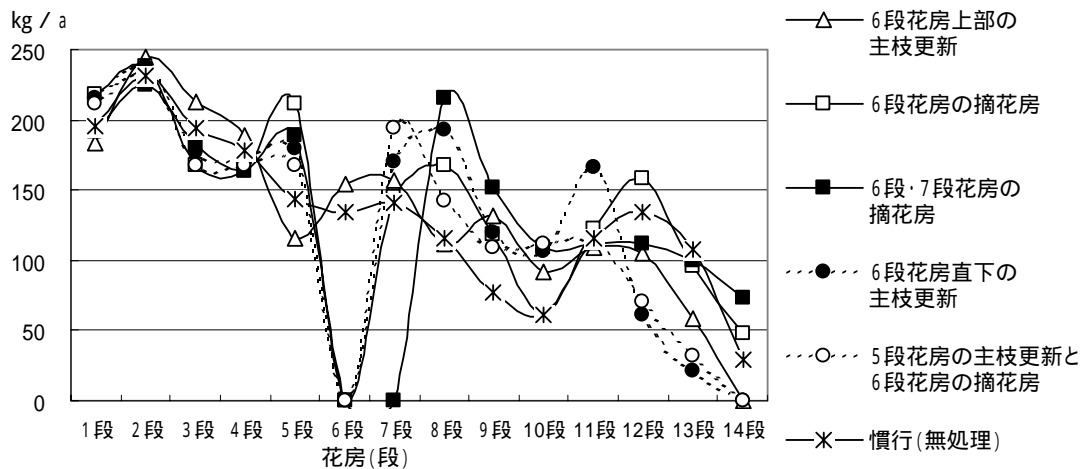


図2 花房段位別商品果収量の推移

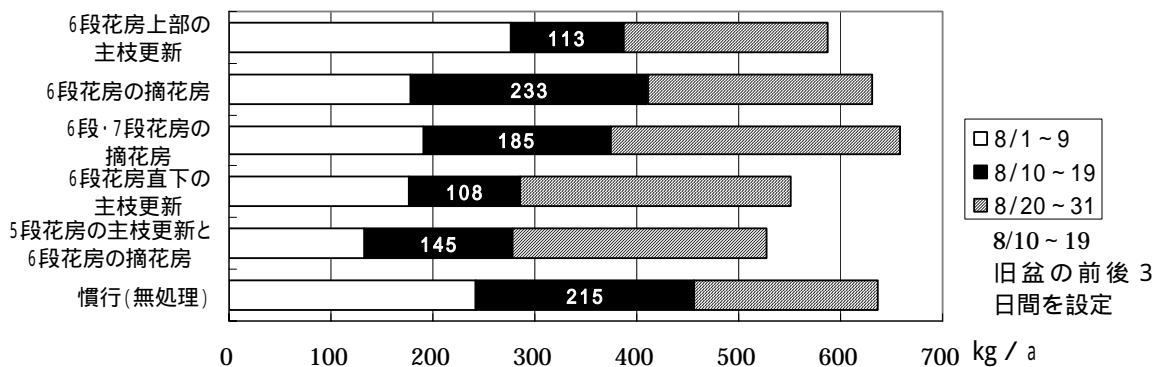


図3 8月の期間別総収量の推移